

土壌分類検索プログラム

Program of Keys to Cultivated Soil Classification

中井 信*

Makoto Nakai

目的と背景

農耕地土壌分類第3次改訂版（3次案）は、分類基準を定量化し、キーアウト方式がとられたため、一定の方式に従って分類が可能になった。そこでパソコンで分類検索を簡易に行うプログラムを開発した。開発はボーランド社の C++Builder で行い、OS は MS-Windows である。

内容と機能

3次案では、断面記載と分析値から特徴層位と識別特徴を求め、これらの分類基準の有無でキーアウト方式で土壌名を検索する。本プログラムでは、特徴層位と識別特徴を判定した後の検索を行う。

プログラムを起動すると、図1の画面が表示されるので、断面の欄に断面の番号あるいは地点など断面を識別する情報を入力する。次に、「土壌群」のボタンをクリックすると、図2の土壌群の検索画面が表示される。



図1 土壌分類検索プログラム初期画面

対象の土壌断面にある特徴層位、識別特徴をチェックし、「OK」ボタンをクリックすると、図3のように土壌群名が表示される。ここで、特徴層位や識別特徴はいくつ選んでもよい。キーアウト順にしたがって、選択項目が適用され土壌群名を決めるようになっている。

* 農業環境インベントリーセンター 土壌分類研究室

Soil Classification Laboratory, Natural Resources Inventory Center

インベントリー, 第1号, p.23-24 (2002)

続けて、同様の方法により、土壌亜群、土壌統群、土壌統を順次検索する。これらの下位の分類では、上位の分類の違いによって異なった基準を用いているため、表示される選択画面は異なる基準が表示される。検索した結果は、ファイルに保存するか印刷することができる。

現在のプログラムでは、特徴層位と識別特徴を別に判定する必要がある。今後、断面記載と分析値のデータベースから特徴層位と識別特徴をコンピューターに識別させ、検索を自動化するプログラムを開発する予定である。

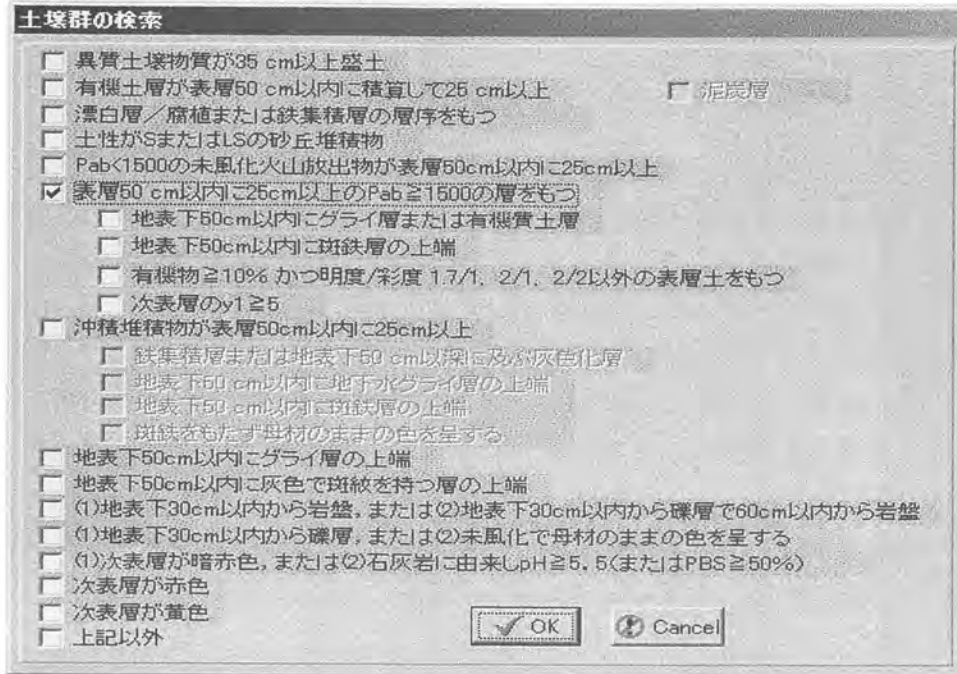


図2 土壌群の検索画面



図3 土壌群の検索結果

利用法

このプログラムは 436 kB の大きさである。書き込み可能なメディアを添えて下記に申込みば配布可能である。

問合せ先

農業環境インベントリーセンター 土壌分類研究室 中井 信
 電話：0298-38-8353, E-mail：nakaimkt@affrc.go.jp